

会 議 録

会議名	令和8年度第1回東松山市子ども読書活動推進懇談会					
開催日時	令和8年5月18日（月）			開 会	午後3時30分	
				閉 会	午後5時00分	
開催場所	東松山市立図書館3階研修室					
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 議事 （1）第2次東松山市子ども読書活動推進計画の概要について （2）アンケート案について （3）第3次東松山市子ども読書活動推進計画策定スケジュールについて 5 その他 6 閉会					
公開・非公開の別	公開	傍聴者数		なし		
非公開の理由 （非公開の場合）						
参加者出席状況	座 長	森田 隆	出席	参加者	西岡 里枝子	出席
	参加者	金子 郁美	欠席	参加者	石原 冬樹	出席
	参加者	宮原 陽子	出席	参加者	岡村 益美	出席
	参加者	吉野 元基	出席	参加者	荻野 真美	出席
	参加者	飯塚 規文	欠席	参加者	菊池 奈緒子	出席
	参加者	岩崎 慶一	出席	参加者	岡部 成志	出席
事 務 局	市立図書館長 荻野 裕			市立図書館主査 佐藤 幸恵		
	市立図書館主査 岡部 宏章			市立図書館主任 原田 美帆		
	市立図書館主任 堀 千尋					

次 第	顛 末
1 開会	事務局
2 あいさつ	市立図書館 荻野館長
3 自己紹介	参加者、事務局自己紹介
4 議事	<p>(座長 森田氏)</p> <p>この懇談会の会議録については、事務局で作成しますが、会議録を確認し署名する方をお二人、指名させていただきます。名簿順で西岡さん、石原さんをお願いいたします。後日、事務局で作成した会議録の内容をご確認の上、ご署名をお願いいたします。それでは、議事に入らせていただきます。はじめに、議題（１）について、事務局より説明をお願いいたします。</p> <p>(事務局 佐藤主査)</p> <p>〈資料１「第２次東松山市子ども読書活動推進計画の概要」、参考１「第四次『子供の読書活動の推進に関する基本的な計画』の概要」、参考２「埼玉県子供読書活動推進計画の概要」、参考３「東松山市子どもの読書アンケート調査結果」について説明。〉</p> <p>(座長 森田氏)</p> <p>現行の第２次東松山市子ども読書活動推進計画に係る課題や取り組み状況を各団体ごとにお聞かせください。</p> <p>(西岡氏)</p> <p>高坂ひまわり保育園では、０～２歳児の低年齢のクラスにおいては読み聞かせを最低１日６回程度行うようにしています。子どもたちに読み聞かせをする本を選ばせたり、その時期や年齢などにより興味を持ちやすいテーマの絵本を読んだりなどしています。</p> <p>(石原氏)</p> <p>白山中学校では、部活動の活動時間確保のための時間割の再編で朝読書の時間をなくしてしまっていました。読書習慣の喪失以外の</p>

弊害も出ており、朝の落ち着いたスタートや、教職員が朝読書の時間に生徒を観察することもできなくなっていました。多くの教員から朝読書の再開の要望があり、本年度から再開している状況です。読書に関しては、上からの働きかけも必要ではありますが、習慣づけがそれ以上に重要と感じています。朝読書を再開したことにより、昼休みに手持無沙汰になった際に読書をしたり、図書館で借りた本を自宅で読んだりなどする生徒が増えてきたという印象です。

(宮原氏)

松山女子高校の特徴的な取り組みとして、1・2年生全員がビブリオバトルに参加しています。ロングホームルームの時間を利用してクラス内で5～6人のグループで1回、さらに各グループの勝者でもう1回実施してクラスごとの勝者を決め、さらに各クラスの勝者同士で1回実施し、3時間かけて学年のチャンピオンを決めています。勝者の紹介した本は司書が紹介するより影響が大きいいためグループの勝者のレベルからなるべく買い揃えるようにしています。その他図書委員や教職員によるおすすめ図書の紹介等や本屋大賞の本の展示などを行っています。反面で貸出実績が20年前と比較しておよそ半減という状態になっています。スマートフォンの影響や生徒の間で本は家にあるものを読むか買うものという認識になっていると考えます。

(岡村氏)

子ども向けに紙芝居や絵本の読み聞かせを行っています。読み聞かせを行うときに小学生と幼稚園児どちらに合わせればよいのかと悩んでいます。東松山市の図書館については大型の本が多くて、そこは良い点と思っています。

(障害者福祉課 吉野副課長)

障害者福祉課としての取り組みになりえるものとしては子どもが学びたいといった場合の点字図書の給付等になろうかと思えます。

(健康推進課 荻野主査)

健康推進課では乳幼児健診において健診待ちの時間を利用して絵

本を読んでもらい、親子が本に親しめるような時間として活用しています。数年前に新型コロナウイルス感染症の流行があった際に衛生面の懸念からその取り組みが一時中断されていましたが、待ち時間に親がスマートフォンを見ていたり、放っておかれた子どもが走り回っていたりという状況に衝撃を受けて、絵本の活用を再開したという経緯があります。発達やことばの遅れに悩んでいる親子は多いのですが、そういった親子に絵本の繰り返し読めるという側面や読み聞かせという行為そのものが情緒面も含めて良い影響を与えていると感じています。

(まつやま保育園 菊池主査)

まつやま保育園ではつくしんぼの会など読み聞かせのボランティアの団体に入っていたのですが、新型コロナウイルス感染症が流行した際に外部の方を入れるのはリスクが高いということになりお断りしたという経緯がありました。昨年からは個人のボランティアの方に月1回程度の頻度で入っていますが、以前の水準を回復できていません。

個人的に読み聞かせのボランティアとして小学校でも活動していますが、新型コロナウイルス感染症の流行中も松二小では受け入れをして下さっていました。市の川小でも本年度より月1回受け入れをしてくださると伺っております。新型コロナウイルス感染症で受け入れを中止した他の小学校についても、受け入れを再開してほしいと希望しております。

また、中学校の赤ちゃん抱っこ体験で絵本のコーナーを担当していますが、中学生が赤ちゃんに絵本を読むときにとっても良い顔をしていたという印象を受けました。普段触れる機会はないのかもしれませんが、中学生でも十分絵本を楽しめるのだと感じます。

(学校教育課 岩崎副主幹)

資料の中で放課後児童教室・児童クラブへの図書貸出を行っていたとの記載がありましたが、どこの学校かご教示いただけますでしょうか。非常に良い取り組みと思いますので、再開していただけるとありがたいです。

(事務局 佐藤主査)

確認いたします。

(学校教育課 岩崎副主幹)

学校教育課で昨年度まで図書の学校システムの担当をしておりました。先ほど石原先生からも言及があったところですが、各小中学校が働き方改革の名の下に教育課程の見直しを行っており、スケジュールに余白がなくなり汲々としている状態です。市内で朝読書を行っている小学校はほとんどないと思われます。ただ、県の学力調査で上位に位置している市内のある小学校にその秘訣を探ると朝読書がその要因の一つであったということを知ることができました。朝の会の前に5分でも10分でも朝読書を行うことで、一日を落ち着いて始められるという教職員の声があったとのことでした。このように朝読書には間違いなく意味があるということは実感していますが、一度なくしてしまったものを再開するにはどうすればよいのかと思悩む部分ではあります。

二点目として、学校司書は生徒が本に親しめるよう様々な取り組みを講じてくださっていますが、不読率の上昇、貸出冊数の減少に歯止めがかかっていない状況です。司書からは申し訳ないとお詫びの言葉をいただきますが、先述の教育課程の見直しや、デジタルの普及など原因は環境面にあるのであり、司書の責任ではないこと、今まで通り、生徒に本の魅力を伝えて頂きたい旨を申し伝えていきます。

三点目としては、比企eライブラリについてとなります。令和6年度より学校連携を開始し3年目を迎えていますが、特に中学校において、利用率が上がっていません。

(石原氏)

直近の内容は目にしていませんが、中学生向けとしてはいささか内容が幼いかと感じます。

(学校教育課 岩崎副主幹)

他の中学校教員より聞いた話となりますが、中学生は集会などの際には文庫本を持ち歩き、時間が空いた際にはそちらを読んでいる

のだそうです。そうすると、e-ライブラリを利用するためにタブレットを持ち歩くという習慣は生まれにくいと思われます。

最後、4点目としては、先進事例をご紹介いただきたいということになります。TRC様に先進的な取り組みを行っている県内自治体はどこか、という質問をしたところ、上里町や新座市というご回答をいただきました。むろん予算面での違いということは大いなのでしょうが、参考にすることによって新たな知恵が生まれてくるのかなと考えます。また要望として、新型コロナウイルス感染症で減少してしまった読み聞かせボランティアについては、やってみたいが、やり方や申し込む方法がわからない、また依頼があれば行うなどの声を聞くことから、間口を広げる意味で、読み聞かせのための講座のようなものを行うとよいのかなと考えました。

(生涯学習課 岡部主幹)

生涯学習課の職員として、生涯学習に関連した視点から話させていただきます。動画等のマルチメディアと比較した際に、視覚と聴覚同時に情報が入ってくるということは学習効率に大きな影響を与えます。例えば書物だけで学べば1時間かかってしまうようなものが、動画だと30秒というような事例が出てきます。こういった状況では社会のデジタル化に伴ってどうしても不読率は下がってきてしまいます。文字だけの書物には苦しい面が出てきてしまいます。ただし、学校教育では生徒指導の一環として読書を使う場合があります。学校教育課からも言及がありましたが、朝読書には気持ちを落ち着かせる効果があり、これを取り入れることは中学校の生徒指導においてステータスになっていた時代がありました。

翻って、生涯学習における読書の位置づけということになりますが、これは社会参画や自己実現といった生きがいにとどまらず、読書をすることによる情報化社会への対応や、学び続ける社会の構築につなげていくというのが大切なことであると考えます。ただ注意すべきなのが、デジタル化を推し進めすぎると、高齢者の孤立を招くという点です。書物のみで物事を学んできた世代と、マルチメディアに慣れ親しんできた世代の2極化が起こってしまう恐れがあります。デジタル教科書も今後普及していきますので、人の方のマルチに対応できる能力を育てていかなければならないのかな、という

ふうには生涯学習の観点からは考えます。

(座長 森田氏)

急なお願いとなりましたが、それぞれのお立場からご意見いただき、ありがとうございました。現行の活動計画について、加えてご意見等ある方はいらっしゃいますか。

(まつやま保育園 菊池主査)

めくるむという会社の提供しているめくりんくというアプリがあり、絵本の挿絵を解説してくれるものです。視覚障害者でも絵本を楽しめるというものです。次回会議で持参するのでご参照ください。

(座長 森田氏)

議題1については、以上といたします。

続いて、議題2について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 佐藤主査)

〈資料2-1「子どもの読書活動に関するアンケート」、資料2-2「子どもの読書アンケート」について説明。〉

(座長 森田氏)

前回計画のアンケートから内容が変わった部分がありますか。

(事務局 荻野館長)

「子どもの読書アンケート」の質問11までは前回の内容を踏襲した形となっております。質問12の「比企eライブラリ（電子図書館）を使ったことはありますか。」については、令和6年に実施した中間アンケートで追加した設問となり、今回も掲載しております。

(座長 森田氏)

アンケートについて、ほかにご意見、ご質問等がありますか。

(生涯学習課 岡部主幹)

新型コロナウイルス感染症に関する項目は省いてよいと考えま

す。それ以外の項目については前回と比較するという意味も含め据え置くのが望ましいと考えます。ただし、デジタル社会、多様な子どもたちへの対応に関わる項目については社会が大きく変化している部分であるため質問を入れてもよいのかなと感じます。

(健康推進課 荻野主査)

文字が苦手、という子どもも多くいます。オーディオブックの活用をしているかなどを質問項目に入れてもよいのではと考えます。

(事務局 荻野館長)

多様な子どもたちへの対応及び新型コロナウイルス感染症に関わる部分に関しては、「子どもの読書アンケート」に項目がなく、前回は踏襲した形を想定しております。多様な子どもたちへの対応に関しては「子どもの読書活動に関するアンケート」の小学校向け、質問10および、中高向けの質問5において、多様な子どもたちへの対応の項目を入れております。「子どもの読書アンケート」の内容に手を加えると前回との比較が困難になるため、多様な子どもたちへの対応の部分に関しては委員の皆様のご意見をいただきながら「子どもの読書活動に関するアンケート」を修正する形がよいと考えております。

(まつやま保育園 菊池主査)

「子どもの読書アンケート」の質問2「小さいとき、家の人に本を読んでもらうことがありましたか」については、大きい子どもは読んでもらったことを忘れて「なかった」と回答してしまうので、「あった」という回答の率が低くても実態を反映していない可能性があります。

(座長 森田氏)

荻野さんが先ほどオーディオブックの話をしていましたが、質問項目に入れたとして、回答は返ってきそうでしょうか。

(まつやま保育園 菊池主査)

それに関しては、「子どもの読書アンケート」の質問3の注釈にオ

ーディオブックを含む旨を追加すればよいのではないかと思います。

(宮原氏)

高校生向け「子どもの読書アンケート」の質問9「市の図書館(公共図書館)に行くことがありますか」について、「市の図書館」とは、東松山市の図書館に限りますか。

(事務局 荻野館長)

他自治体の図書館を含むという認識です。

(宮原氏)

それであれば、「市町村の図書館」と表現を修正いただきたいです。

(学校教育課 岩崎副主幹)

「子どもの読書活動に関するアンケート」の質問10の選択肢「デジタル書籍の整備(拡大・読み上げ機能など)」については小中学校においては比企eライブラリのことと解してよろしいでしょうか。また、その旨を赤字の注釈部分に追記いただけるとありがたいです。

(座長 森田氏)

承知いたしました。高校においては同様の取り決めは特にないということによろしいでしょうか。

(宮原氏)

本校と松山高校においては電子書籍の整備の実績はありません。農大三高については把握しておりません。

(座長 森田氏)

比企eライブラリについては一般向けと学校向けの読み放題パックの2種類がありますが、アンケートにおいてどちらをどう扱うという整理はできていますか。

(事務局 荻野館長)

どちらでもよいという解釈です。また、比企 e ライブラリ自体の登録者自体が減少しているという事情もあり、そこは分けずに集計したいものとなります。

(座長 森田氏)

時間が差し迫ってきておりますので、議題 2 については、以上といたします。アンケートについて他に意見がある場合の対応について、事務局よりご説明願います。

続いて、議題 3 について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 佐藤主査)

〈資料 3 「第 3 次子ども読書活動推進計画策定スケジュール (案)」および参考 6 「読書活動に関する目標値 (他市)」について説明

また、アンケートについて追加でご意見がある場合には、欠席時用に送付した意見送付用フォームまたは電子メールにてご送付ください。期限は 5 月末とさせていただきます。

(座長 森田氏)

参考 6 で説明のあった目標値については次回の懇談会等で話し合う時間が取れますか。

(事務局 佐藤主査)

目標値についてはもし増やすべき、減らすべきなどというご意見があれば頂きたいものとなりますが、いかがでしょうか。

(座長 森田氏)

新型コロナウイルス感染症の影響や、スマートフォンという高い壁があり、不読率を下げるというのは難しいものと考えております。

(事務局 佐藤主査)

実際、近年新たな計画の策定を行ったところは目標値を下げており、当市もそういった状況になっていくと思われれます。

(座長 森田氏)

	<p>本件に関しては、いかに低下を食い止めるか、というのが現実的な線なのかな、と考えます。そのあたりも含め、次回協議できればと思います。</p> <p>(事務局 荻野館長)</p> <p>目標値の設定に関しては、最低限2項目を設定できればと考えております。</p>
5. その他	<p>(事務局 佐藤主査)</p> <p>次回会議の日程、7月13日で調整</p>
6. 閉会 事務局	<p>(事務局 岡部主査)</p> <p>以上で閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和 8 年 6 月 22 日 署名 西岡 里枝子 _____</p> <p>署名 石原 冬樹 _____</p>	